

# 北海道開発局の防災対応について (災害時広報の課題と対策)

---

北海道開発局 事業振興部 防災課

# 1. 緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) 派遣

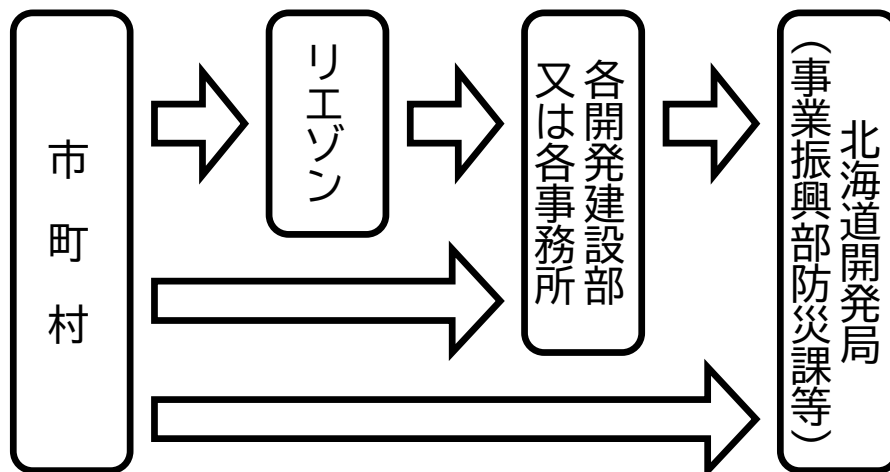
## 目的

大規模な自然災害に際して被災状況の把握や被災地の早期復旧のための技術的支援など、被災地方自治体の支援を迅速に実施します。

## 概要

- ① 隊員は専門技術者（河川、道路、港湾、建築、電気、機械等）で構成
- ② 任務別の班編制により緊急事態に速やかに的確な対応を実施
- ③ 全国に配備しているヘリコプターや排水ポンプ車等の災害対策用の機械により、迅速な被害状況調査や応急対策が可能

## 派遣要請



## 活動内容

- ① 被災概況の把握
- ② 被害状況の早期把握
- ③ 二次災害発生防止
- ④ 危険箇所監視
- ⑤ 進入・避難経路確保
- ⑥ 緊急輸送路確保
- ⑦ 地方公共団体等業務継続支援
- ⑧ 復旧早期化支援
- ⑨ 救命・救助支援

## 班編制

- ① リエゾン
- ② 先遣隊
- ③ 先遣調査班
- ④ 現地支援班
- ⑤ 情報通信班
- ⑥ 被災状況調査班(ヘリ調査)  
被災状況調査班(現地調査)
- ⑦ 応急対策班
- ⑧ 広報撮影班
- ⑨ 各班配置のロジ担当



## 2. 緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) の主な活動

### 被災状況調査班

#### ●役割

災害対策用ヘリコプターまたは踏査等により公共土木施設または土砂災害等の被災状況を調査する



### 応急対策班

#### ●役割

- ①救命救助活動を支援するための排水ポンプ車による緊急排水
- ②道路(航路)啓開による緊急通行路(航路)の確保
- ③被害拡大防止のための応急仮締切等の応急対策

排水ポンプ車による緊急排水



応急対策【被害拡大防止】



道路啓開【通路確保】



路面清掃



給水活動

## TEC-FORCE派遣実績

| 年度  | 災害名                    | 延べ人数<br>(人・日) |
|-----|------------------------|---------------|
| H22 | 東日本大震災                 | 823           |
| H26 | 8月5日低気圧に伴う大雨           | 83            |
|     | 8月23日からの低気圧に伴う大雨       | 83            |
| H27 | 羅臼町海岸地すべり              | 4             |
|     | 関東・東北豪雨(宮城県)           | 54            |
|     | 台風23号から変わった低気圧         | 19            |
| H28 | 熊本地震                   | 572           |
|     | 7月27日から8月4日からの低気圧      | 15            |
| H29 | 北海道での台風災害              | 1199          |
|     | 7月22日からの梅雨前線豪雨(秋田・宮城県) | 32            |
| H30 | 7月2日からの大雨              | 56            |
|     | 西日本を中心とした豪雨(広島・香川・愛媛県) | 873           |
|     | 北海道胆振東部地震              | 1557          |
|     | 北海道胆振地方の地震             | 37            |

| 年度 | 災害名                     | 延べ人数<br>(人・日) |
|----|-------------------------|---------------|
| R1 | 令和元年8月8日から9日にかけての大雨     | 7             |
|    | 令和元年房総半島台風(台風第15号)      | 27            |
|    | 令和元年東日本台風(台風第19号)       | 1339          |
| R2 | 令和2年7月豪雨(熊本県)           | 629           |
| R3 | 令和2年台風第10号(宮城県)         | 30            |
|    | 福徳岡ノ場噴火に伴う漂流軽石対応        | 16            |
| R4 | 宗谷地方北部を震源とする地震          | 5             |
| R5 | 北海道浦河沖を震源とする地震          | 2             |
|    | 8月3日からの大雨               | 2             |
|    | 令和6年能登半島地震              | 469           |
| R6 | 7月23日からの大雨              | 1             |
|    | 8月9日からの大雨               | 7             |
|    | 9月20日からの能登大雨(北陸地整・輪島市)  | 200           |
| R7 | カムチャッカ半島で付近で発生した地震に伴う津波 | 12            |
|    | 8月26日からの大雨              | 17            |
|    | 9月13日からの大雨              | 4             |
|    | 9月20日からの大雨              | 34            |
|    | 11月1日からの大雨              | 2             |
|    | 12月8日青森県東方沖地震           | 7             |



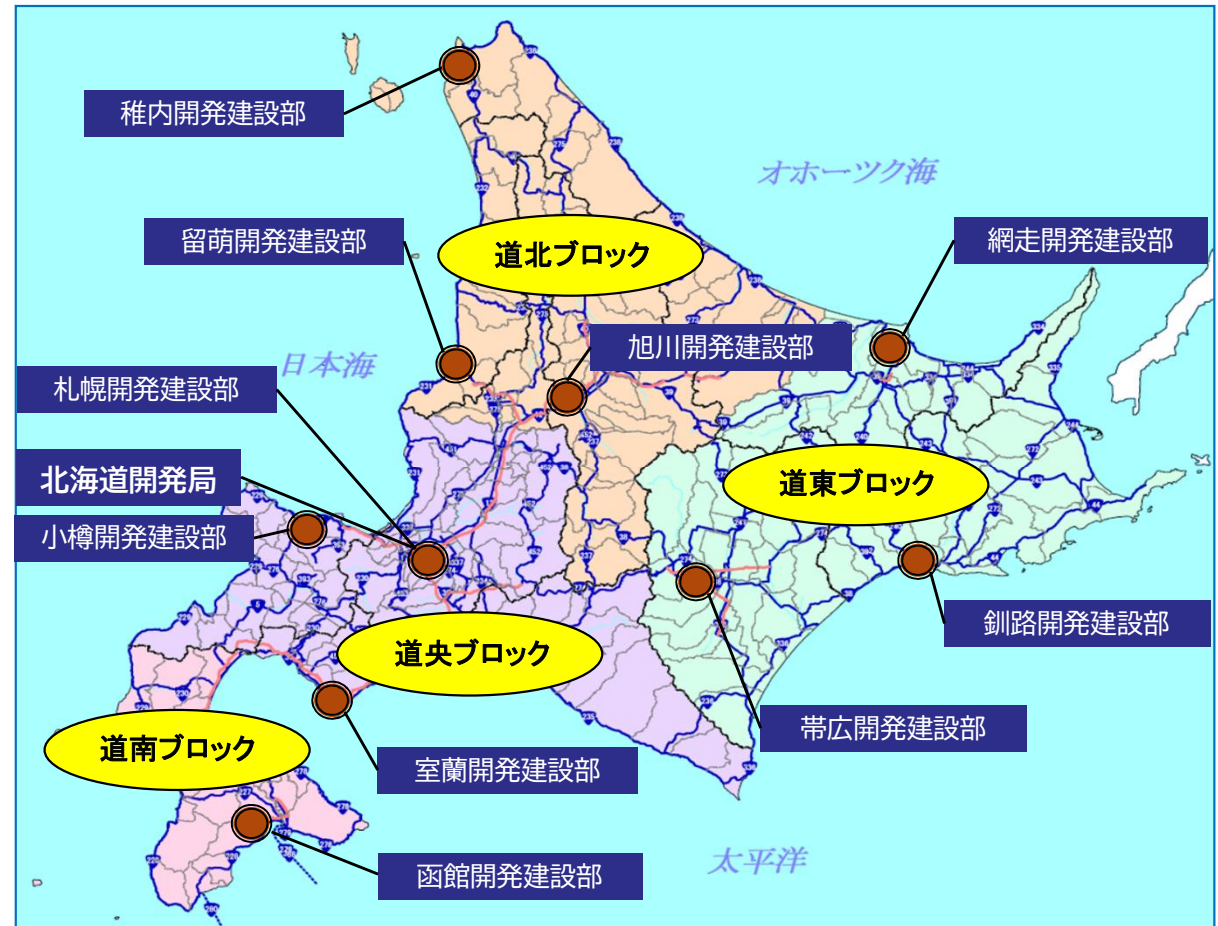
# 3. 災害対策用機械の配備状況

- 北海道開発局では、地震、水害、及び火山噴火等による様々な災害から国民の生活と財産を守るために各種の災害対策用機械を保有し、道内のみならず全国に出動出来るようにしています。

## 災害対策用機械の配備状況

| 保有機械名          | 道央ブロック<br>札幌<br>小樽<br>室蘭 | 道南ブロック<br>函館 | 道東ブロック<br>釧路<br>帯広<br>網走(一部) | 道北ブロック<br>旭川<br>留萌<br>稚内<br>網走(一部) | 計  |
|----------------|--------------------------|--------------|------------------------------|------------------------------------|----|
| 防災ヘリコプター       | 1                        |              |                              |                                    | 1  |
| 小型無人ヘリコプター     | 1                        |              |                              |                                    | 1  |
| 衛星通信車          | 1                        | 1            | 1                            | 1                                  | 4  |
| 衛星通信車(Car-SAT) | 1                        |              |                              |                                    | 1  |
| 対策本部車          | 1                        |              | 1                            | 1                                  | 3  |
| 待機支援車          | 2                        | 1            | 1                            | 1                                  | 5  |
| 排水ポンプ車         | 13                       | 2            | 14                           | 9                                  | 38 |
| 排水ポンプ設置支援ユニット  | 2                        |              | 3                            | 2                                  | 7  |
| 照明車            | 8                        | 2            | 6                            | 5                                  | 21 |
| 土のう造成機         | 1                        |              | 1                            | 1                                  | 3  |
| 多目的支援車         | 1                        |              |                              | 1                                  | 2  |
| 分解組立型バックホウ     | 1                        |              |                              |                                    | 1  |
| バックホウ簡易遠隔操縦装置  | 1                        | 1            | 1                            | 1                                  | 4  |
| 応急組立橋          | 3                        |              | 3                            | 1                                  | 7  |

## 災害対策用機械の活動状況



小形無人ヘリコプター



対策本部車



応急組立橋



土のう造成機



衛星通信車

## 4. 災害対策用機械による支援

- 令和4年2月、札幌圏を中心とした記録的な大雪への対応として、自治体からの支援要請のもと、除雪機械等を派遣

### 江別市

- ロータリ除雪車（オペ付） 1台
- 除雪グレーダ（オペ付） 1台
- 除雪ドーザ（オペ付） 1台
- 貸与期間：令和4年2月12日～19日
- 排雪量 約18,000m<sup>3</sup>  
（ダンプトラック 約1,300台分）



### 当別町

- ロータリ除雪車（オペ無） 1台
- 貸与期間：令和4年2月17日～3月16日
- 排雪量 約16,000m<sup>3</sup>  
（ダンプトラック 約1,200台分）



### 恵庭市

- ロータリ除雪車（オペ付） 1台
- 除雪グレーダ（オペ付） 1台
- 除雪ドーザ（オペ付） 1台
- 貸与期間：令和4年3月3日～3月17日
- 排雪量 約27,000m<sup>3</sup>  
（ダンプトラック 約1,900台分）



## 5. SNSによる情報発信

- 令和7年の大雪災害時における排雪支援や大雨災害時の被災状況調査、令和8年の林野火災や雌阿寒岳火口のヘリ調査など、TEC-FORCEの活動状況は、SNSを介して随時情報発信。

国土交通省 北海道開発局 防災情報 @hkd\_mlit\_bousai · 1月31日  
札幌市の排雪支援をしています。



札幌市排雪支援

66 968 4,999 45万

国土交通省 北海道開発局 防災情報 @hkd\_mlit\_bousai · 4月17日  
空から確認。根室市林野火災の鎮圧状況



林野火災ヘリ調査

14 347 1,826 281万

国土交通省 北海道開発局 防災情報 @hkd\_mlit\_bousai · 5月13日  
【雌阿寒岳 火口周辺の状況（R8年5月11日撮影）】  
開発局防災ヘリにより、気象台、北大と共同で火山観測を実施しました。  
#いのちとくらしをまもる防災減災



雌阿寒岳ヘリ調査

5 360 1,117 11万

国土交通省 北海道開発局 防災... @hkd\_mlit\_bo... · 2025年10月22日  
北海道開発局は、白老町の鳥インフルエンザ対応支援として照明車3台を派遣しました。



白老町鳥インフル支援

16 36 7,196

国土交通省 北海道開発局 防災... @hkd\_mlit\_bou... · 2025年9月22日  
浦幌町厚内橋の調査に帯広開発建設部からTEC-FORCE隊員2名を派遣しました。



浦幌町被災状況調査

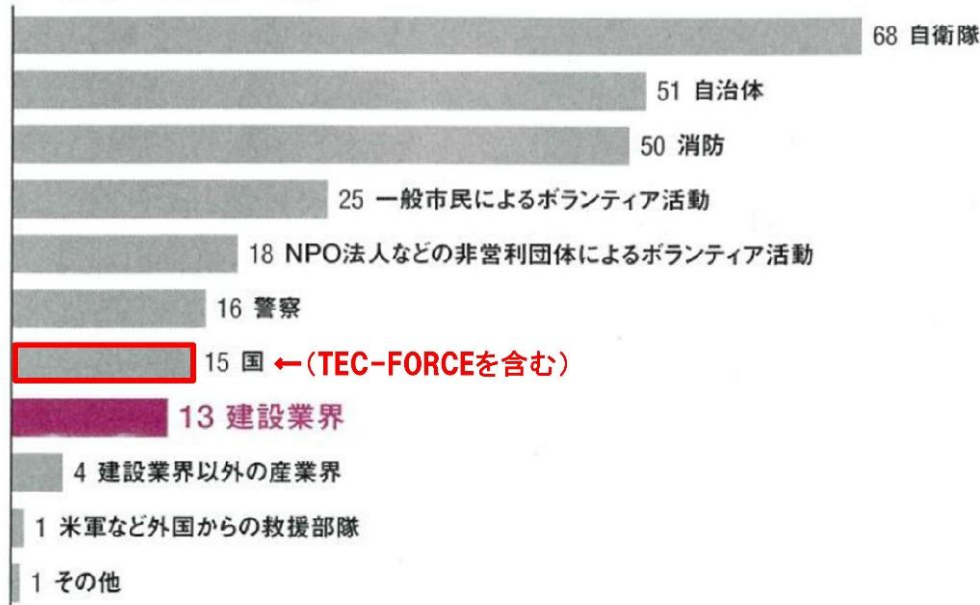
13 35 3,734

- これまで災害時の広報は、記者発表やホームページ掲載などで行われてきたが、人命救助等を担う自衛隊などの活動に比べ、国土交通省の災害対応は社会的認知度が低い
- TEC-FORCEや建設関連会社は災害初動期から現地で尽力いただいているが、報道・メディア露出が少なく、その活躍が国民に十分に伝わっていない
- 今後、災害時にご協力いただいている建設関連会社のやりがいや意欲向上のためにも、災害時における戦略的な広報活動が必要不可欠

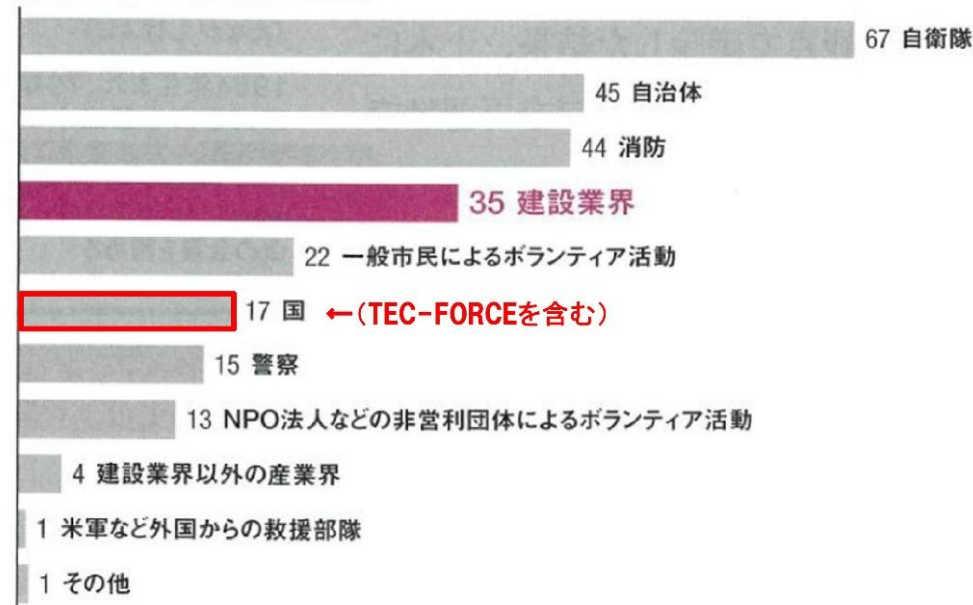
## 能登半島地震の被災地支援で、より大きく貢献したと思う団体・組織は？

※図中の値はパーセント。日経クロステックが挙げた選択肢の中から3つまで選択。

【一般の回答者】(n=1443)



【建設業界の回答者】(n=445)



### 〔課題認識〕

TEC-FORCEや建設業等が被災地支援において大きな役割を果たしているにもかかわらず、自衛隊や消防と比べて一般に十分に認知されていないとの指摘がある。



### 〔対応方針〕

TEC-FORCEおよび建設業等の広報を以下の3本柱で強化

#### ①コンテンツの強化

～valuable picture and movie～

#### ②広報の実施手法

～媒体の特徴を踏まえた効果的な取組～

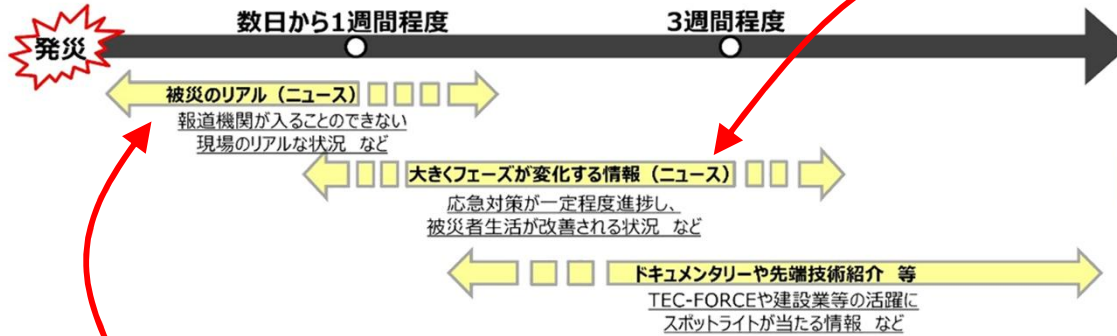
#### ③実施体制の確保

～現場から本省の一気通貫の体制～

# 8. 広報強化策 ①コンテンツの強化

- 災害の各フェーズで SNS等を用いて情報発信
- 国民目線で価値のある写真や動画を投稿

## 《フェーズ毎に求められる情報のイメージ》



## ②災害フェーズの変化を逃さない！

(例) 道路啓開完了

### ■ SNSによる情報発信のイメージ

現場に応じて工夫しながら知見・ノウハウを蓄積していくことが重要

【 ●●町●●地区への道路啓開完了】

TEC-FORCEとTEC-FORCEパートナーである●●(建設業等)が国道○号の道路啓開を実施し、斜面崩落により孤立が発生していた○町○地区に緊急車両の通行が可能となりました。  
一般車両の通行確保に向けて、引き続き作業を行ってまいります。

#○○地震 #孤立解消 #○○町 #国土交通省 #TEC-FORCE #建設業

《 POINT 》  
対応にあたった者をアピール。

《 POINT 》  
対策の前後がわかるように、before-afterの写真をそれぞれ掲載

《 POINT 》  
この投稿の核。被災者や広く一般が知りたい情報。



## ①現地状況をいち早く伝える！

(例) 道路啓開に着手

### ■ SNSによる情報発信のイメージ

現場に応じて工夫しながら知見・ノウハウを蓄積していくことが重要

【○○地震の被災現場で、道路啓開に着手】

本日○時○分、被災現場にTEC-FORCE及びTEC-FORCEパートナーである○○建設(株)が到着。

一刻も早い通行確保に向けて、道路啓開作業を開始しました。

#○○台風 #○○○○ #○○市 #国土交通省 #TEC-FORCE

《 POINT 》  
対応にあたった者をしっかりアピール。

《 POINT 》  
広く一般の方が、知りたい情報である被災状況がよくわかるような全体像を掲載。



《 POINT 》  
この投稿の核。被災者や広く一般が知りたい情報。

## ③関心を喚起する情報発信！

(例) 水中ブルドーザによる掘削作業

### ■ SNSによる情報発信のイメージ

現場に応じて工夫しながら知見・ノウハウを蓄積していくことが重要

【なにこれ新技術！潜水艦！？】

TEC-FORCEとTEC-FORCEパートナーである●●(建設業等)が水中ブルドーザにより河道閉塞した河川の掘削を実施しました。  
水中での施工は危険なため、人が乗らず、ラジコンを操作するように、遠隔で操作します。  
この機械の導入により、洪水が頻繁に発生する夏季でも安全に施工ができるようになり、迅速な復旧に貢献しています。

#○○地震 #孤立解消 #○○町 #先端技術 #国土交通省 #TEC-FORCE #建設業

《 POINT 》  
キャッチーなタイトルを付けて興味を引く

《 POINT 》  
驚きのある写真を掲載。(驚きのある技術を決定することが重要)

《 POINT 》  
その技術の導入によって、どのように住民生活が良くなるのかが分かるように記載。



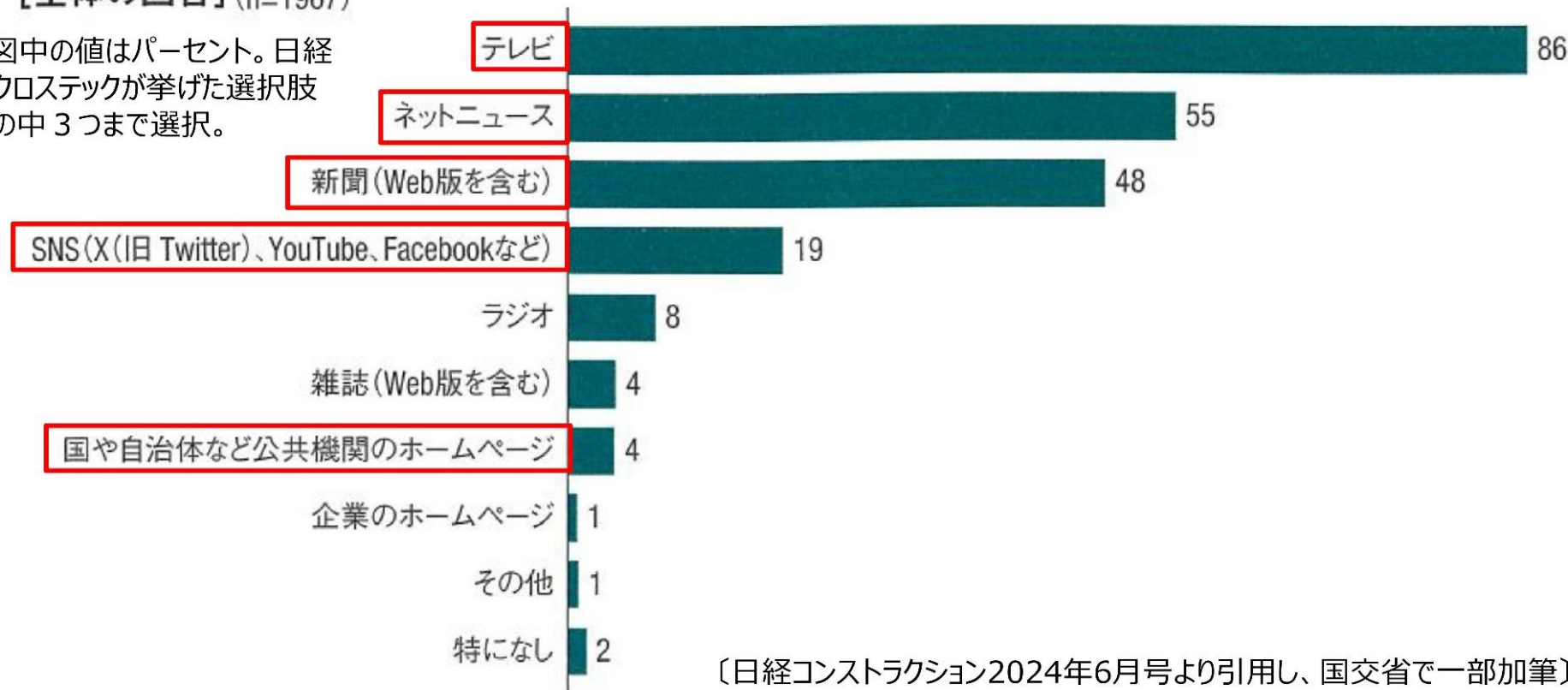
## 8. 広報強化策 ②広報の実施手法

- これまでホームページや記者発表を介して情報発信を行っていたが、一般の方々は、災害時の情報をテレビや新聞、ネットニュース、SNSなどから得ている場合が多い。
- このような状況を踏まえ、広く一般の方々にTEC-FORCEや建設関連企業の活躍が伝わるよう、これからは**テレビや新聞、ネットニュース、SNSを広報手段の中心に位置づけて情報発信を進める。**

### 能登半島地震の被災地の様子（復旧など）を知るのによく利用した媒体は？

【全体の回答】(n=1967)

※図中の値はパーセント。日経クロステックが挙げた選択肢の中 3 つまで選択。



〔日経コンストラクション2024年6月号より引用し、国交省で一部加筆〕 30

## 8. 広報強化策 ③実施体制の確保

### 役割分担

- ① TEC-FORCE部隊は、被災箇所における活動状況の写真・動画を撮影
- ② 災害対策本部は、TEC-FORCE舞台が撮影した写真・動画を選別し、SNS等を介した情報発信を行う
- ③ 本省は、広報の質と量の向上のため、災害対策本部に助言を行う

| 部局            | 担当者（案）※<br>○：責任者             | 役割                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 現場            | TEC-FORCE<br>広報班・<br>被災状況調査班 | <p><b>（ア）写真・動画の撮影</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地の記録として、写真・動画を撮影する中で、1現場あたり数枚は、TEC-FORCEや建設業等の被写体として含まれる、国民目線で価値のある写真・動画（VPM）を工夫して撮影</li> <li>・日時・場所などの基本情報を入力（自動）を実施</li> </ul> <p><b>（イ）写真・動画への情報の付与・共有</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（ア）で撮影したVPMに重要タグ（フラグ付け）及び状況解説など広報に必要な情報を付与</li> <li>・（ア）で撮影したすべての写真・動画を速やかにTECアプリを用いて共有</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 地整等災害<br>対策本部 | ○企画部官クラス<br>課長補佐<br>係長       | <p><b>（ウ）写真選定支援システムによる選別</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援システムを用いて、AIによる類似画像や書類の除外、スコアリング評価、グルーピング等を実施</li> </ul> <p><b>（エ）公表可否の判断、写真・動画の選別</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（ウ）で選定した写真・動画のうち、プライバシーやセキュリティなどの観点から公表に適さないものを除外</li> </ul> <p><b>（オ）被災現場のリアルを速報として報道機関に幅広く共有</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（エ）で選別した写真・動画を報道機関に共有</li> </ul> <p><b>（カ）SNSの活用による迅速かつ継続的な情報発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（オ）の写真・動画のうち、災害対応のフェーズの変化など、国民の関心が高い情報について、SNSを用いて発信</li> </ul> <p><b>（キ）感動の一瞬を逃さない取材型広報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（カ）の写真・動画のうち、生活インフラの復旧や交通の確保などの被災者が日常を取り戻す場面、新技術活用の場面など、国民の関心が高いと考えられる場面を幅広く捉えを捉え、取材を誘致</li> </ul> |
| 本省            | ○総括災害査定官<br>課長補佐<br>係長       | <p><b>【司令塔的役割】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地の状況、SNS発信・取材状況等を把握し、広報の数の確保・質の向上のために地整等に助言</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

### 〔課題認識〕

TEC-FORCEや建設業等が被災地支援において大きな役割を果たしているにも関わらず、自衛隊や消防と比べて一般に十分に認知されていないとの指摘がある。



### 〔対応方針〕

TEC-FORCEおよび建設業等の広報を以下の3本柱で強化

#### ①コンテンツの強化

～valuable picture and movie～

#### ②広報の実施手法

～媒体の特徴を踏まえた効果的な取組～

#### ③実施体制の確保

～現場から本省の一気通貫の体制～



### 〔最終目標〕

- 国交省・建設業界への信頼を醸成し、災害時及び平時の施策推進に理解・協力してもらいやすい環境を作る。
- 業務にやりがいや魅力を感じてもらうことによって、担い手を確保することに繋げる。

メディアの皆様へのお願い

北海道開発局防災課では今後SNSを活用した広報を推進していきますので、「北海道開発局 防災情報のXアカウント」のフォローと、災害時の投稿へのリポストをいただけると幸いです。

## X 北海道開発局 防災情報

[https://x.com/hkd\\_mlit\\_bousai](https://x.com/hkd_mlit_bousai)

